平成 2 7 年

南部町議会第 2 回定例会会議録

平成 2 7 年 6 月 1 日 開会

平成 2 7 年 6 月 1 2 日 閉会

山梨県南部町議会

平成 2 7 年

南部町議会第 2 回定例会会議録

6 月 1 日

平成27年第2回南部町議会定例会（第1日目）

議事日程（第1号）

平成27年6月1日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開会・開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸報告

日程第4 提出議題の報告

日程第5 議案の上程・説明

報告第5号 専決処分した事件の承認について（一般会計補正予算（第1号））

報告第6号 繰越明許費繰越計算書について（一般会計）

議案第7号 繰越明許費繰越計算書について（介護保険特別会計）

議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）

議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第54号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

議案第55号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

議案第56号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

議案第57号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

議案第58号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

議案第59号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について

- 議案第60号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第61号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第62号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第63号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第64号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第65号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第66号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第67号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について

日程第6 提出議案の質疑・討論・採決（先議16件）

- 報告第6号 繰越明許費繰越計算書について（一般会計）
- 議案第7号 繰越明許費繰越計算書について（介護保険特別会計）
- 議案第54号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第55号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第56号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第57号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第58号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第59号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第60号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
- 議案第61号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第62号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第63号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第64号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第65号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第66号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
- 議案第67号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について

日程第7 提出議案に対する質疑

議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

報告第5号 専決処分した事件の承認について（一般会計補正予算（第1号））

議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）

議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）

日程第8 提出議案の委員会付託

日程第9 一般質問

4. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	遠藤光宣	2番	仲亀佳定
3番	森田守	4番	望月藤一
5番	内田大明	6番	鍋田幹雄
7番	木内利明	8番	萩原敬
9番	堀之内可和	10番	佐野哲也
11番	簀持雅	12番	望月將名

5. 欠席議員(なし)

6. 会議録署名議員

4番	望月藤一	5番	内田大明
----	------	----	------

7. 地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名(22名)

町長	佐野和広	教育長	渡辺拓雄
代表監査委員	若林泰文	会計管理者 (兼)出納室所長	鈴木正規
総務課長	四條和彦	財政課長	望月政文
企画課長	佐野隆行	税務課長	望月哲也
交通防災課長	望月一弥	子育て支援課長	田村秋人
福祉保健課長 (兼)地域包括支援センター所長	遠藤良彦	住民課長	古屋秀樹
産業振興課長(併) 農業委員会事務局長	木内一哉	建設課長	若林邦治
水道環境課長	小池治男	環境センター所長	稲葉芳幸
アルファセンター所長	新井稔	健康管理センター所長	近藤勝
学校教育故課長 (兼)学校給食共同調理場所長	青木司	生涯学習課長(兼)公民館長(兼) アルカディアスポーツセンター所長	梶原猛
出納室室長補佐	望月浩	税務課課長補佐	望月一希

8. 職務のために議場に出席した者の職氏名(1名)

議会事務局長 小倉弘規

開会 午前 9時30分

○議長（望月將名君）

皆さま、おはようございます。

平成27年第2回定例会の開会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

昨今は、日本中のあちこちで地震の発生や火山活動による噴火など、日本列島全体に地殻変動が起きているように思われます。

また、3月の時点で4つの台風が発生し、さらに4月上旬に台風5号が、5月には6号・7号がそれぞれ発生するなど、地球温暖化によるものなのか、過去最も早いペースとなっています。

これから秋までの間、まだまだ台風の発生は予想されますので、その対策には万全を期してまいりたいと思います。

さて、戦後日本の安全保障政策の歴史的な転換を図ろうとする、自衛隊法、武力攻撃事態法、周辺事態法などの改正10法案を一括した平和安全法制整備法と、他国軍の後方支援を随時可能とする新法、国際平和支援法の2法案が、内閣から今国会に提出され審議入りしました。

この法案は、国民の生命と平和な暮らしを守ることを目的としていますが、我が国の平和主義に重大な意義と岐路を迎えるものであると思われます。

その行使について、厳格な歯止め策がどのように法案に反映されているのか、また、国民に対する丁寧な説明と慎重な審議がなされることが望まれます。

さて、環境省が推進するクールビズも今年で11年目を迎えましたが、本町議会におきましても、昨年同様、地球温暖化防止と節電に取り組むため、本会議等での上着・ネクタイの着用は自由といたしますので、ご了承ください。

さて、議員各位におかれましては、公私ともにご多忙のところ、第2回定例会へご参集を賜りまして、厚く御礼申し上げます。また、過日の山梨県議長会議員研修への参加、大変ご苦労さまでした。

今期定例会には、佐野町長就任による平成27年度政策予算も提出されております。どうか町民の付託に応えられますよう、よろしくご審議をお願いいたします。

それでは、円滑なる議会運営に格段のご協力を重ねてお願い申し上げまして、開会のあいさつとさせていただきます。

ただいまから平成27年南部町議会第2回定例会を開会いたします。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、平成27年南部町議会第2回定例会は成立いたしました。

それでは直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配布のとおりです。

○議長（望月將名君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により議長において、4番 望月藤一議員および5番 内田大明議員の両名を指名いたします。

○議長（望月將名君）

日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から6月19日までの19日間といたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日から6月19日までの19日間とすることに決定いたしました。

○議長（望月將名君）

日程第3 諸報告を行います。

地方自治法第121条第1項の規定により、町長、教育委員会の教育長および監査委員に出席を求めたところ、お手元に配布のとおり、説明員の出席ならびに委任の通知がありましたので、ご承知願います。

町長から、お手元に配布のとおり議案の提出がありましたので、報告いたします。

次に、請願、陳情等についてであります。本定例会に付する請願・陳情等はありません。

次に、監査委員から地方自治法第235条の2第3項の規定による、平成26年度会計の平成27年2月・3月・4月分、平成27年度会計の平成27年4月分に関する現金出納検査の結果報告がありました。写しをお手元に配布しておきましたので、ご承知願います。

以上で諸報告を終わります。

○議長（望月將名君）

日程第4 提出議題の報告ですが、お手元に配布してありますので、提出議題の朗読を省略させていただきます。

○議長（望月將名君）

日程第5 報告第5号 専決処分した事件の承認について（平成27年度南部町一般会計補正予算（第1号））

報告第6号 繰越明許費繰越計算書について（平成26年度南部町一般会計予算）

報告第7号 繰越明許費繰越計算書について（平成26年度南部町介護保険特別会計予算）

議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）

議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）
議案第54号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第55号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第56号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第57号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第58号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第59号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第60号 南部町睦合財産区管理会委員の選任について
議案第61号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第62号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第63号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第64号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第65号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第66号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について
議案第67号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について

以上、22件について、会議規則第37条の規定により一括して議題といたします。

町長から、行政報告と併せて提案理由の説明を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

平成27年第2回定例会開催にあたり、提出いたしました案件の説明に先立ちまして、一言ごあいさつをさせていただきます。

本日、南部町議会第2回定例会を開催しましたところ、何かとご多忙のところ、全議員の皆さまの出席を賜り議会開催がされますことに、心から感謝を申し上げます。

去る5月16日の、町主催による「故小澤介三氏を偲ぶ会」に際しましては、議員の皆さま、また町内、町外から多くの皆さまにご参列いただき、滞りなく執り行うことができました。あらためて感謝申し上げます。

それでは、3月定例会以降の行政報告をさせていただきます。

3月19日、第3回なんぶ健康会議が総合会館で開催されました。来年度に向けて健康づくりポスターの制作など、会議の取り組みが町民へ浸透するよう運動を展開していくことなどが話し合われました。

4月1日、職員の定期人事異動を行いました。4度目となる職員人事異動ですが、職員の勤務状況を見た中で、それぞれ適材適所と思われるような配置といたしました。今後の職員の頑張りに期待するところであります。

4月5日、東京都港区山梨県人会の皆さまが観光バス1台で、平成21年春にアルカディア総合公園天井山へ植樹した桜の成長を見るために来町されました。県人会代表の中村忠正さまより毎年寄付していただいているふるさと納税を、天井山の下刈り等の整備に充てさせていただいていることを報告しながら、桜の成長を一緒に確認しました。

また、南部町と港区が協定を結んでいる港モデルの話題にも触れながら、今後もさらに親交を深めていくこととお話ししました。

4月9日、竹林整備検討委員委嘱式が本庁舎2階大会議室で開催されました。荒廃竹林は、

本町をはじめ竹林を抱えている町村にとって重要課題となっています。国産のタケノコの安定生産はもちろん、荒廃竹林は災害にも弱いとされています。また、集落近くの里山の竹林を荒らしておくると有害鳥獣の住処にもなり、今、問題となっている鳥獣害の問題も発生しやすくなります。この荒廃竹林について、どのような形で整備していけば、災害に強くさらに良種なタケノコが安定生産できるようになるか、町を挙げて考えなければならない時が来ています。

町では、昨年より有識者、生産者、林業関係者が集まり、竹林整備検討委員会を発足させ、今回正式に、町より委員の委嘱をする運びとなりました。今後は本格始動し、随時、竹林整備を開始していきたいと考えております。

4月14日、平成27年度区長委嘱式および初区長会を行いました。

4月19日、たけのこまつりが開催され、天候にも恵まれ町内外から多くのお客さまにお越しいただき、山菜やタケノコ料理を楽しんでいただけたものと思います。用意したタケノコ3.2トンは午前10時ごろには完売となり、あらためてタケノコの人気の高さに驚かされました。ただ、残念であったことは、タケノコの出荷量が少なく、タケノコを買い求めに来たお客さまに大変残念な思いをさせたことにあります。

4月27日、職員に迎えられながら初登庁いたしました。当選証書受領後、直ちに職員への訓示を行い、2期目の町政執行がスタートいたしました。

5月11日から20日まで、春の全国交通安全運動が実施され、運動に先駆け5月11日には、内船駅前で黄色い羽根の配布、また国道52号線の道の駅「とみざわ」前で街頭指導が、南部警察署を中心に各種団体の皆さんの協力により行われました。

5月12日、一般廃棄物最終処分場建設工事安全祈願祭が、笛吹市境川町の建設工事現場で執り行われ、出席してまいりました。

同日午後より、町村長会議が自治会館で開催され、6月1日本日より、山梨県町村会副会長に就任することになりました。今後は今まで以上に公務での出張の機会が増えてまいります。

5月16日、名誉町民「故小澤介三氏を偲ぶ会」が、町内外の多くの皆さまのご参列をいただき、アルカディア体育館において執り行われました。

5月17日、JAお茶まつりが、晴天のもと、アルカディア総合公園特設会場において開催されました。今年のお茶は出荷量も多く高品質の出来栄であるとのことでした。

5月19日、南部いきいき大学を活性化センターで行い、講師として招かれ、新町長としてこれからの町政についてお話をさせていただきました。

5月20日、21日、竹林整備検討委員会の視察研修に同行してまいりました。視察研修は今年度より本格始動する竹林整備事業において、伐倒竹の2次製品を加工生産するための、竹パウダー製造機と竹チョッパーの機種選定のための実演視察と、竹林整備の先進地における整備方法の研修を受けることを目的としたものであります。研修先は兵庫県姫路市と静岡県浜松市で、それぞれの工場にある機種と竹林整備方法を聞いてまいりました。バスの中では機種の検討と今後の方針について協議をしてきました。

5月25日、平成27年度国道469号建設促進期成同盟会通常総会が富士宮市で行われ、議長ともども出席し、執行部の立場から大いに意見を述べさせていただきました。

5月25日、26日、関東町村会主催のトップセミナーに参加しました。町村が直面している重要課題の問題解決を図るため、関東の全町村長が一堂に会し、県を越えた町村同士の情報・意見交換および連携強化を図るための研修を受けました。

5月27日、昨年に続きチャレンジデーを開催しました。今年は参加率目標を68%に掲げました。結果は、対戦相手の岩手県軽米町が参加率52.4%、南部町が53.7%で、目標の参加率には達しませんでした。勝利を収めることができました。今回は町民への浸透度が少なく反省点も数々ありましたので、この点をもう一度見直し、来年度は目標設定の数値に近付けるよう頑張りたいと思っております。

以上で行政報告を終わります。

それでは、本定例議会にご提案させていただいた議案につきまして、提案理由の説明をさせていただきます。

お手元の議案集にありますように、本定例議会への提出議案は、報告3件、条例の一部改正案3件、補正予算案2件、人事案件が14件であります。

議案集の1ページをお開きください。

最初に、報告第5号 専決処分した事件の承認について（平成27年度南部町一般会計補正予算(第1号)）であります。名誉町民であります小澤介三元町長が4月13日にご逝去され、町主催による偲ぶ会を実施することとしたことに伴い、補正予算を編成する必要が生じましたが、早急に準備をする必要があり議会を招集する時間的余裕がなかったため、専決処分したものであります。財源につきましては前年度繰越金を充てます。歳出につきましては333万3千円であります。

続いて、報告第6号 平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書を、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告させていただきます。

すでに本年3月の定例議会におきまして、交流促進整備事業442万8千円、地域住民生活等緊急支援のための交付金事業関連の5事業6,422万8千円と、ゴミ固定燃料RDF化施設解体事業3,253万円の、7件の繰越明許費総額1億118万6千円の議決をいただいておりますが、平成27年度へ繰り越す金額が1億118万6千円で確定しましたので、計算書のとおり報告いたします。

続いて、報告第7号 平成26年度南部町介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書を、地方自治法施行令第146条第2項の規定により報告させていただきます。

3月の定例議会におきまして、介護保険システム改修事業229万円の繰越明許費の議決をいただいておりますが、平成27年度へ繰り越す金額が229万円で確定しましたので、計算書のとおり報告いたします。

次に、議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてであります。介護保険法施行規則等の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

続いて、議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてであります。介護保険施行規則等の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要が生じたためであります。

続いて、議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてであります。介護保険施行規則等

の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、本条例の一部を改正する必要性が生じたためであります。

次に、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）であります。本年度は町長改選を控えておりましたので、当初予算を骨格予算で編成したことから、6月補正予算に政策的経費を計上するものとしておりました。再選を果たすことができ、魅力あふれるふるさと、一流の田舎町をつくることを目指し、防災・防犯対策を強化し、医療・福祉や教育関係の充実を進め、子どもからお年寄りまで安心して暮らせるまちづくりを進めるための予算編成といたしました。

歳入歳出それぞれ3億6,321万1千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を51億5,854万4千円とするものであります。

財源につきましては、国庫補助金、県補助金、繰越金および町債等を充てます。

歳出では、政策的な事業として、医療費削減・健康寿命延長のため立ち上げた「なんぶ健康会議」が製作する健康ポスター印刷製本費34万6千円、安心・安全なまちづくりの一環として、道路新設改良費に9,695万円、橋りょう長寿命化対策に9,082万2千円、農道・水路の整備に2,650万円、防災・防犯対策として消防施設に3,310万円、災害対策費に1,309万8千円、小中学校の教育相談と支援のための教育支援センターに75万円などを計上しました。

また、国の施策として、臨時福祉給付金支給事業1,381万1千円、子育て世帯臨時特例給付金給付事業345万円を計上しました。

続いて、議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算であります。歳入歳出それぞれ92万9千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を11億8,396万2千円とするものです。

次に、議案第54号から議案第60号までの南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてありますが、現在の7名の委員の任期が平成27年6月30日をもって満了しますので、その後任として、

議案第54号は、南部町成島2714番地 杉山好史氏、再任であります。

議案第55号は、南部町南部7567番地 早川三雄氏、再任であります。

議案第56号は、南部町南部5687番地 渡邊欣二氏、再任であります。

議案第57号は、南部町本郷1310番地 望月信行氏、再任であります。

議案第58号は、南部町塩沢2255番地 秋山金次郎氏、新任であります。

議案第59号は、南部町中野2461番地 望月望氏、新任であります。

議案第60号は、南部町大和810番地 望月敏夫氏、新任であります。

以上7名を選任したく、南部町財産区管理委員会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものであります。また、睦合財産区管理委員会委員は南部町恩賜県有財産保護財産区管理委員会条例により、大城平外二山恩賜林保護財産区管理委員会の委員を兼ねることとなっております。

任期につきましては、本年7月1日から4年間であります。

続いて、議案第61号から議案第67号までの南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてありますが、現在の7名の委員の任期が平成27年6月21日をもって満了となりますので、その後任として、

議案第61号は、南部町楮根2709番地 若林一明氏、再任であります。

議案第62号は、南部町楮根1493番地1 畔高孝一氏、新任であります。

議案第63号は、南部町楮根2986番地 瀧勝氏、新任であります。

議案第64号は、南部町楮根796番地 山口和臣氏、再任であります。

議案第65号は、南部町楮根4379番地 田中道幸氏、新任であります。

議案第66号は、南部町福士15744番地1 若林安彦氏、新任であります。

議案第67号は、南部町楮根2358番地 久保田聰氏、新任であります。

以上の7名を選任したく、南部町大日向外三山恩賜県有財産保護財産区管理会条例第3条の規定により、議会の同意を求めるものであります。

任期につきましては、本年6月22日から4年間であります。

以上で提案説明を終わらせていただきます。詳細な内容につきましては、担当課長より説明をさせますので、よろしくご審議をいただき議決いただけますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わらせていただきます。

○議長（望月將名君）

次に担当課長の補足説明を求めます。

報告第5号から議案第7号まで、ならびに議案第52号および議案第53号の補正予算について、望月財政課長。

○財政課長（望月政文君）

（補足の説明・省略）

○議長（望月將名君）

次に、議案第49号から議案第51号までの条例の一部改正について、遠藤福祉保健課長。

○福祉保健課長（兼）地域包括支援センター所長（遠藤良彦君）

（補足の説明・省略）

○議長（望月將名君）

以上で担当課長の補足説明を終わります。

○議長（望月將名君）

日程第6 ただいま議題となっております案件のうち、報告第6号および報告第7号の繰越明許費繰越計算書、議案第54号から議案第60号までの南部町陸合財産区管理会委員の選任について、議案第61号から議案第67号までの南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理会委員の選任について、以上16件については、町長から本日先議されたい旨の申し出がありました。

よって、本日先議いたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、報告第6号および報告第7号、議案第54号から議案第67号までについては、本日先議することに決定いたしました。

議案集の3ページをお開きください。

まず、報告第6号 繰越明許費繰越計算書（平成26年度南部町一般会計予算）についてを議題とし、質疑を行います。

質疑はありませんか。

9番 堀之内可和議員。

○9番議員（堀之内可和君）

地方創生事業ということで、昨年度の後半から予算に出まして、これの繰り越しがあつたわけではありますが、特に竹林整備あるいはパウダー製造という、そういった計画がなされております。

それからもう1点は、商工会のプレミアム商品券ということで、現在、商工会でも準備を進めているようですが、こういった事業につきましては、なるべく早い時期に手を付けて地域創生を進めていくということが大事だろうと思います。

商工会のプレミアム商品券については、いつごろから販売していくか。それから竹林の整備あるいはパウダーの製造等については、先ごろ兵庫県あるいは浜松へ研修に行ったということを知っておりますが、このへんの実施計画等につきまして、説明をお願いいたします。

○議長（望月將名君）

木内産業振興課長。

○産業振興課長（併）農業委員会事務局長（木内一哉君）

それでは、9番、堀之内議員のご質問にお答えいたします。

プレミアム商品券につきましては、商工会の準備が全部終わっておりまして、7月12日曜日に販売予定であります。

これにつきましては、本庁と分庁舎、午前9時より3時まで、その残りの商品券につきましては、随時、商工会で販売することになっております。

また、2点目の竹林整備につきましては、先ほど町長の話の中にもありましたとおり、機種の視察研修に行つてまいりまして、ただいま協議検討中でございます。

皆さんご存じのとおり、5月いっぱいまでに竹林整備の公募をいたしまして、60件強の要望がありまして、面積としましては9町歩の予定になっております。

6月に入りまして、竹林整備検討委員会ならびに里山研究会と協議検討いたしまして、本年度の予定地を選択するわけですが、これが決まったところで6月早々には竹林整備に入りたいと考えております。

以上です。

○議長（望月將名君）

よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、報告第6号 繰越明許費繰越計算書（平成26年度一般会計予算）についての報告を終了いたします。

次に、議案集5ページをお開きください。

報告第7号 繰越明許費繰越計算書（平成26年度介護保険特別会計予算）についてを議題とし、質疑を行います。

質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、報告第7号 繰越明許費繰越計算書（平成26年度介護保険特別会計予算）についての報告を終了いたします。

議案第54号から議案第60号までの南部町睦合財産区管理委員会委員の選任について、および議案第61号から議案第67号までの南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを議題といたします。

議案集25ページから38ページになります。

この案件は人事案件でありますので、質疑・討論を省略して、直ちに採決に入りたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、質疑・討論を省略して、直ちに採決に入ることに決定いたしました。

それでは、議案第54号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第54号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第55号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第55号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第56号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第56号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第57号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第57号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第58号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第58号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第59号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（起立全員）

起立全員であります。

よって、議案第59号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第60号 南部町睦合財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。
本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第60号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第61号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第61号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第62号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第62号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第63号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第63号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第64号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第64号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第65号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第65号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。
次に、議案第66号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第66号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

次に、議案第67号 南部町大日向外三山恩賜林保護財産区管理委員会委員の選任についてを採決いたします。

本案に同意することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起立全員)

起立全員であります。

よって、議案第67号については、原案のとおり同意することに決定いたしました。

ここで暫時休憩いたします。

再開は11時からとします。

休憩 午前10時47分

再開 午前11時00分

○議長 (望月将名君)

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

日程第7 報告第5号および議案第49号から議案第53号までを議題とし、質疑を行います。

なお、本案件については委員会審査を予定しておりますので、詳細は委員会審査でお願いしたいと思います。

最初に議案集7ページをお開きください。

議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第49号の質疑を終結いたします。

次に議案集10ページをお開きください。

議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第50号の質疑を終結いたします。

次に議案集20ページをお開きください。

議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について、質疑はありませんか。

(なし)

質疑なしと認めます。

以上で、議案第51号の質疑を終結いたします。

次に、報告第5号 専決処分した事件の承認について (平成27年度南部町一般会計補正予

算（第1号）を議題とし、質疑を行います。

別冊の一般会計補正予算書（第1号）をご用意ください。

質疑は、すべての会計において、事項別明細書により行います。

それでは5ページと7ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、報告第5号の質疑を終結いたします。

次に、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）について質疑を行います。

別冊の、一般会計補正予算書（第2号）をご用意ください。

はじめに歳入について、5ページ地方債補正および、9ページと10ページです。

質疑はありませんか。

8番、萩原敬議員。

○8番議員（萩原敬君）

9ページです。

総務費、国庫補助金のマイナンバー制度についてですが、どのような段取りでやるか全体的な流れを、今後の取り組みについて説明願いたいと思います。

よろしくお願いします。

○議長（望月將名君）

四條総務課長。

○総務課長（四條和彦君）

それでは、8番、萩原議員のご質問にお答えしたいと思います。

今回のマイナンバーにつきましては、住民票を有するすべての方、1人1つの番号を付しまして、社会保障・税・災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関に存在する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用するものであります。

このマイナンバー制度の導入に向けての対応でございますが、法律が平成25年5月に成立し、今年の10月から12桁の個人番号、法人番号の付番・通知が始まります。そして来年の1月から市町村においての個人番号の交付ということになります。

来年の1月以降順次、社会保障や災害対策の行政手続でマイナンバーが必要になってくるといことで、実質的な動きとしましては、国庫負担金により地方公共団体システム機構に負担金を出して中間サーバを構築し、来年度から運用を開始して、国と地方公共団体とが情報連携の運用テストを行い、それがOKとなったところで、今の予定では29年の7月ころから運用開始という形になるかと思えます。

28年1月からカードを交付するわけですが、実際のところ、カードが交付されても、身分証明証の使用とかそういうものしかとりあえずはできないのかなといことで、行政手続きの方で始まっていくという感じになります。

また、マイナンバーについては、法令や自治体の条例で定められた行政手続きにしか使用することができないことから、次の9月議会に提出することになるかと思えますが、この制度のために必要な行政手続きについて、今、各課と協議しながら総務課で、条例・規則や訓令等をまとめているという状況でございます。

○議長（望月将名君）

よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

6番、鍋田議員。

○6番議員（鍋田幹雄君）

10ページの、雑入の一般コミュニティ助成事業を説明していただけますか。

○議長（望月将名君）

生涯学習課長。

○生涯学習課長（兼）公民館長（兼）アルカディアスポーツセンター所長（梶原猛君）

それでは、6番、鍋田議員の質問にお答えいたします。

一般コミュニティ助成事業交付金250万円ですが、これは財団法人自治総合センターが行っております、宝くじの社会貢献広報事業によるもので、昨年10月に助成金の交付申請をしたところ、これが交付決定となりましたので、計上いたしました。

○議長（望月将名君）

ほかに質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に歳出に移ります。

第2款総務費から第4款衛生費までについて、11ページから13ページ下段まで、質疑はありませんか。

9番、堀之内可和議員。

○9番議員（堀之内可和君）

11ページであります。地方公共団体情報システム機構負担金ということで、これは県下を統一してシステムの構築をするのかどうか。

それから、マイナンバー制度になりますと、国会でもかなり議論されたわけですが、個人情報の流出ということが大変懸念されるということでありまして、このへんのメリット・デメリット、この点を説明してください。

○議長（望月将名君）

総務課長。

○総務課長（四條和彦君）

9番、堀之内議員のご質問につきまして、説明をさせていただきます。

この中間サーバにつきましては、平成26年度にも予算を補正で計上させていただいております。この中間サーバを国が置くわけですが、これにかかる費用が、想定予算といたしまして2年間で145億6千万円でございます。26年度が19億円で、27年度には126億6千万円としているわけでございます。

これについて各自自治体みんなで負担をするわけですが、都道府県と市町村で、市町村につきましては、人口で1万人以下、10万人以下などという形になっておりまして、南部町は1万人以下ということで、今回441万7千円という負担でございます。

ちなみに、昨年度につきましては、66万3千円ということでございます。これについては、全額、国の補助金ということでございます。

それから、マイナンバーについてのメリット・デメリットということですが、今、報道機関からはどんどん先行した報道がされて、国もマイナンバーをいつやるよ、内容はこういうようなことをやるよと、いろいろなことが出ていますが、実際のところははっきりしていないということでございます。

そういう状況で、各自治体、町、それから県の関係でも、実際のところ、どういう形でいつからどのようにやっていくかという会議が、開かれていないのが実情でございます。

ただし、今年の10月からナンバーを付番して、来年1月からその交付をするということで、自治体としては先ほどお話ししたように、ともかく、それに関する条例あるいは規則・訓令等について措置しておかないと使えないということでございます。

マイナンバーの提示によってできるようになることとしては、年金の受給開始の時期の手続きにおいて住民票や所得証明の添付をしなくてもよいこと。それから、児童手当の現況調査の際にも手続きが簡易になると。また、所得税の確定申告等にも、マイナンバーを持っていればいろいろな書類が不要になり手続きがすごく簡単になるということですが、この税の関係につきましてもまだ実際に細かいことができていないので、平成29年度からになってくるのではないかなということでございます。

これから随時、県あるいは市町村の担当者会議をしながら詳細な内容が出されてくると思いますが、将来的には、マイナンバーを使って、いろいろな手続きが簡単にできるという形になるということでございます。

○議長（望月将名君）

ほかに質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に第5款農林水産業費から第7款土木費までについて、13ページ下段から16ページ上段まで、質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

次に、第8款消防費から最後の第9款教育費までについて、16ページ中段から18ページまで、質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第52号についての質疑を終結いたします。

次に、別冊の特別会計補正予算書をご用意ください。

議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算（第1号）について、質疑を行います。

5ページと7ページ、歳入歳出一括で質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、議案第53号についての質疑を終結いたします。

○議長（望月将名君）

日程第8 提出議案の委員会付託を行います。

お手元に配布のとおり、各常任委員会へ提出議案を付託いたします。

○議長（望月将名君）

日程第9 一般質問を行います。

一般質問は、通告書の1つの質問事項ごとに質問と回答を終了し次の質問事項に進む、一問一答方式です。

1人の一般質問の持ち時間は、質問と回答の時間を含め40分間です。

また、同一の質問事項についての再質問は従前のとおり2回までですので、よろしくお願いいたします。

なお、残り時間は前方右壁に表示されますので、十分ご注意ください。

時間が経過した場合は議長が一般質問を打ち切りますので、申し添えます。

最初に、8番、萩原敬議員の質問を許します。

8番、萩原敬議員。

○8番議員（萩原敬君）

それでは、一般質問をさせていただきます。

私は、中部横断道開通に向けてのアクセス道路と今後の町道整備の考え方について、町長にお伺いしたいと思います。

このたび、町長におかれましては、4年間の実績が評価され再選を果たされました。

「一流の田舎町にする」との基本理念を基として、さまざまな重点施策を掲げられています。

しかしながら、現在、国が唱える行財政改革の考え方からすると、地方交付税の減額をはじめとしてさまざまな締め付けによる厳しい行政運営が必要とされ、町長の一層の行政手腕が求められる時代となってくることが予想されます。

当然、議会といたしましても、いろいろな面で提案をしていくことが、町の発展につながることを考えます。

町長が唱える「一流の田舎町」とは何か。私が考えるには、町民の多くの方が南部町に今後も引き続き住みたいと思い、心穏やかに幸せを実感できることであり、それにはまず住むべき環境を整えることだと思います。

そこで今回、第2次総合計画が策定され、生活道路網・広域道路網の整備という項目があります。これに基づき、国道・県道については、国・県に対して町の要望を強く働き掛けるため、さらに活動を行っていくことであり、町道の整備については、しっかりとしたコンセプトが必要であると思います。

中部横断道の開通に伴い、それを見据えた道路整備を行うことが必要であり、今まさに最も大事な時期であると考えます。

現在、各地区から出された要望による道路行政が主に行われておりますが、町全体を見渡し、道路事業計画を道路構造令に照らし合わせ、補助事業を導入できる地域はないか調査してほしいと思います。

補助事業により道路改良工事を行えば、高率の国・県補助金と補助残への起債活用により、一般財源の持ち出しは少ないと思います。

特に調査してほしい地域は、南部地区では昭和町地内、富沢地区では坂下から平地域ではないかと思えます。この地域は、道路整備をすることにより県道を通じて国道とのアクセスも良くなることと思えます。用地確保の問題もあると思えますが、この地域を有効活用することが今後の南部町の発展につながると思えます。ぜひとも調査が必要であると思えます。

また、中部横断自動車道の南部インターチェンジ付近に整備する交流施設の建設に合わせて、町長の広い見地での、バランスの取れた施策を考えてほしいと思えますが、よろしくご回答をお願いいたします。

○議長（望月將名君）

萩原敬議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、萩原議員の質問にお答えをするわけですが、議員質問の中で、中部横断自動車道開通に向けてのアクセス道路と、今後の町道整備の考え方についてということが主な議題だと思えますが、まずその前に、すでに議員はご存じかと思えますが、平成27年度の国から山梨県への社会資本整備総合事業の予算配分、たぶんお聞きになったと思えますが、391億円なんです。

これは対前年度比86%、年間で63億円、月額にしますと5億円強の予算が減額されております。対前年度予算配分としては、山梨県がワーストという状況で、南部町をはじめ県内の土木関係者を取り巻く環境は非常に厳しいというのが、今年度の状況であります。

それでは、私の提唱する「一流の田舎町」の施策の中に、中部横断自動車道開通を見据えた企業誘致による雇用の創出や、通勤・通学のための交通アクセスの充実を目指したインフラ整備や、静岡市・富士市・富士宮市のベッドタウン構想があります。

現在、南部町を取り巻く道路環境の状況は、平成29年度開通に向けた中部横断自動車道建設や、平成30年代半ばに完成予定の新々富士川橋や、国道469号線のルート決定と早期実現、町民の通勤には欠かせない国道52号線の雨量規制の解除などがあり、山梨・静岡両県の関係機関に要望活動を進めているところであります。

そのような中で、中部横断自動車道の開通に向けてのアクセス道路と町道整備の考え方は、今後の町民の高齢化による生活環境の変化や地域の人口動向、および産業の推移等を調査・検討しながら、町民のニーズを反映した町道の整備や、インフラ長寿命化計画に基づく補助事業等を活用した、財政負担が少なく済む町道の道路整備を行っていきたいと考えております。

また、議員が特に調査してほしいと言っておられました、南部・富沢両地区についての道路整備ですが、今年3月に作成した第2次南部町総合計画にある定住環境整備の住宅政策の中の、人口減少抑制と都市部のベッドタウン構想の中では、当然、視野に入れなければならない地区の1つではないかと思っております。

町内2カ所にインターチェンジが設置されることと、中野地区に町交流施設ができることにより、生活形態等に大きな変化があると思っておりますので、今後の状況を見極めた道路整備を行っていきたいと考えております。

以上です。

○議長（望月将名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

8番、萩原敬議員。

○8番議員（萩原敬君）

ただいま町長から総合的に、また一部前向きな考え方を伺い、また非常に財政的に厳しいというお話を聞きました。

そうは言ってもぜひ、町長は今回、町村会の副会長にも選出されたということでございますので、ぜひ予算を少しでも南部町に持ってくる努力をしていただきたいと思います。

町民は、2期目の出発ですので非常に期待しておりますので、積極的な施策をぜひお願いしたいところでございます。

そこで中部横断道の開通が具体的にできておりますので、開通したあとのことを考える必要があると思います。

それで現在、工事用道路が特にあるわけでございますが、トンネルの立派な仮設道路、これは撤去するのは当然だと思いますが、そうは言っても、この地域で工事用道路、あるいはその地域が必要としている部分もあると思いますので、その仮設道路を今後も残してもらいたい、あるいは撤去する、あるいは開設当時のいろいろな条件等もあると思いますので、それらについての考え方がありましたら、お伺いしたいと思います。

よろしくお願いたします。

○議長（望月将名君）

萩原敬議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは再質問について、お答えいたします。

現在、町内の複数の地区に工事用仮設道路がつくられております。

基本的には、国土交通省、ネクスコ中日本ともに工事期間中は借地契約で対応し、本線工事終了後は元の状態に戻すことが原則と聞いております。

それぞれの場所において条件が違いますので、工事用仮設道路建設時に、地域説明会等を開いて承諾を得た上で設置しております。

説明会時には町も同席して、本線完成後も地域で残してほしいなど、地区で強い要望や用地協力があつた場合や、将来町道として残すことが町にとって有利な場合などは、完成後も町道として管理いたします。

具体的に言いますと、今、平工事用道路については、文京地区内に国道から直接アクセスする道路がないため、町が用地取得し、建設経費、工事はネクスコ中日本で行い、町道として認定してあります。

それから、塩沢地区の作業用道路は、計画説明のときに本線完成後も存続してもらいたいという地元区役員からの要望があり、町道として残すことを検討しております。

以上です。

○議長（望月将名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

8番、萩原敬議員。

○8番議員（萩原敬君）

仮設道路について、町長から具体的な回答がありました。

そこでなお、町内には土羽の部分にほぼ側道があるわけです。

側道といっても、もう少し立派な側道ができるとしたら、何となく取って付けたような側道が多いわけです。

ですから、これについて、いずれはこれが町道に、あるいは町に移管になると思いますので、ぜひ、その側道についてもう一度、建設課を中心としてしっかり移管されることについて確認をして、一部直していただきたいところについてはしっかり直していただくと。

それから、その管理についても契約等を交わす必要が出てくるのではないかと考えておりますので、その時期を見据えて、今のうちからぜひしっかりした、それらの管理をしていただきたいと思いますが、いずれもう少しで開通になりますので、後始末についても、中部横断道については一切国土交通省に任せるのではなく、常に町でも監督しながら見ていただければありがたいと思います。

これは私からの要望でございますので、以上で私の一般質問を終了したいと思います。

ありがとうございました。

○8番議員（萩原敬君）

以上で萩原敬議員の一般質問を終了いたします。

次に、2番、仲亀佳定議員の質問を許します。

2番、仲亀佳定議員。

○2番議員（仲亀佳定君）

私からの質問事項ということで、町長に対しまして、農地法の遵守と移住希望者用の空き家と農地取得および農地の荒廃化について、お尋ねいたします。

若者が都会に出て行くことで、本町をはじめとする地方は、過疎化および高齢化がますます進むことは避けられませんが、一方で都会には、できれば田舎に住んで家庭菜園などの農業をしながら生活をしたという人たちが大勢いることも、また事実です。

山梨県は田舎暮らしランキング1位になりましたが、その理由は、東京都や神奈川県という大都会の近くにありながら、自然環境が豊かであることだそうです。

しかしながら、山梨県内で人気が高いのは、自然や観光面が充実しておりもともと移住者が多い北杜市などであるといわれております。本町をはじめとする峡南地域などは、蚊帳の外になっているのが現状です。

さて、南部町においては、東名高速道路の富士川SAのスマートインターの供用開始、新東名高速道路の開通により、新清水インターから本町まで15分で来ることができます。そして3年後には、中部横断自動車道が全線開通することで、本町は周辺都県へのアクセスには申し分のない環境が整えられることとなります。

したがって、この機をチャンスにとらえ、都会に住む人たちが本町に移住するような施策を推し進めるべきであると考えます。

私のところにも、現在、空き家を探していただきたいという依頼も来ております。町内の空き家を調べたところ、5月現在で200軒あり、そのうち居住可能は60軒です。

町では空き家バンク制度の活用を推進しておりますが、移住を希望する人たちの多くは、住宅とともに家庭菜園などのために小規模農地の所有を望んでいます。

また一方で、住宅や宅地を貸したい、また譲りたい人たちの多くは農地も所有していますが、耕作者が見つからずに荒廃農地が増大しているのが現状であります。

残念ながら、農地法という法律により、本町においても、2反歩の農地を耕作していない限り、本町に移住したとしても農地を取得することはできません。農地法の壁により、移住希望者の阻害をしていることにもどかしさを禁じ得ません。

農地法第3条につきましては、南部町の農業委員会の許可による移転と思われませんが、移住者には特別に所有権移転ができますよう、思い切った施策が必要ではないでしょうか。

これこそが、町長が公約としている「一流の田舎町」になるのではないのでしょうか。

先日の新聞記事でも、政府のTPP問題などから、農業の大規模化を推し進めるばかりの国の政策により、それに対応できない本町の農業の荒廃化がさらに進むことになると考えられます。

以上の点につきまして、町長の率直なお考えをお伺いしたいと思います。

○議長（望月将名君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

仲亀議員のご質問にお答えいたします。

議員ご指摘のとおり、我が町の人口減少・少子高齢化は、10年前の予想を大きく上回り、増え続ける空き家と荒廃する農地、竹林・山林に対する対策が重要不可欠であると考えております。

国におきましても、まち・ひと・しごと創生法を定め、地方への人口分散、地方の特色を生かした活性化支援のための交付金の交付、地方版総合戦略の策定の義務付けと、国策として地方の活性化対策に本腰を入れ取り組んでいます。

また、5月26日付けの山日新聞でも取り上げられましたとおり、空き家対策特別措置法が施行され、今まで野放しであった管理の行き届かない空き家等に対し、市町村の権限で注意勧告ができることとなり、命令違反に対しては50万円以下の過料や強制撤去も可能となりました。

それに伴い、空き家の固定資産税についても、倒壊や衛生面で著しく有害となる特定空き家については、市町村が判断認定し税額の軽減措置が外され、税額が最大6倍となるなど、大変厳しい法律となっております。

今後の具体的な動きではありますが、すでに把握しております町内の空き家について、所有者を特定し、使用可能な物件に対しては、空き家バンクの登録を進め、廃屋については実地調査の上、特定空き家に対しては所有者に対する指導勧告を進めてまいります。

農地法につきましては、大変強い法律であり、農地を守り乱開発を防ぐという観点からは、大変意味のある法律といえますが、誰もが農地を持ってない、家も勝手に建てられない等、事実上の弊害も認めざるを得ません。

これまでも農地法においては、市町村の農業委員会に権限委譲するよう、国・県に対しての働き掛けは行っておりますが、その壁は厚く、なかなか実現に至っておりません。

しかしながら、町としてもいつまでも手をこまねいているわけにはまいりません。移住希望者に提供できる空き家物件確保を進めながら、現在、中部横断道建設関係者で埋まっております中島の住宅等、都会からのお試し住居としての近隣の遊休農地をセットにした受け入れ態勢を考えております。

また、中野の「道の駅」の建設、企業誘致、国道52号線雨量規制の撤廃、インフラの整備等、すべての施策が定住政策に結び付くと考えておりますので、富河中学校跡地、それから長年財務省から借り受けております町営野球場横の広場等の有効利用に向けた検討も早急に進め、今回の総合戦略に織り込みながら、私のイメージする「一流の田舎町」実現に向けてまい進する覚悟であります。

すべての施策において、発想の転換とスピード感が重要と考え、失敗を恐れず挑戦していきますので、仲亀議員はじめ議員各位には、引き続きのご理解、ご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

以上で質問に対するお答えを終わります。

○議長（望月将名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

2番、仲亀佳定議員。

○2番議員（仲亀佳定君）

ただいま、町長から強い期待感と今後のことにつきましてお話がありましたが、私としても、この農地法の3条につきましては、もう長い間この件については何とかできないかということで、多方面に動いたわけですが、今、非常に農地法という法律がネックになってしまっていて、その点を、先ほど私が一般質問の中で出させていただきましたが、南部町の農業委員会にとりまして、何とかこのことを解決できるように、町長が今も申されましたように、「一流の田舎町」、このことについて、この3条申請を何とかうまく許可できるように、今後も努力していただきたいと思います。

今すぐというわけにはいかず、いろいろ時間がかかると思いますが、私からの強い要望として、一般質問を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

○議長（望月将名君）

仲亀佳定議員の質問が終わりました。

以上で仲亀佳定議員の一般質問を終了いたします。

次に、3番、森田守議員の質問を許します。

3番、森田守議員。

○3番議員（森田守君）

一般質問をさせていただきます。

昨年12月議会におきまして、内田議員さんから消防団員の報酬等の引き上げについて一般質問がなされ、すでに条例が改正、本年4月から施行されているところであります。

私は、地域の消防団ならびに区が行う、消防ポンプ室等の施設整備費の地元負担の軽減がで

きないか、お伺いいたします。

南部町消防団ならびに自主防災会消防防災施設等整備費補助金交付要綱によりますと、消防団ならびに防災会が管理する消防ポンプ室等を新築、あるいは改築する場合、町の補助金は補助対象経費の2分の1で、その補助対象経費の限度額は400万円とされています。つまり、最高400万円の整備費で200万円の町からの助成が受けられるわけであります。

地域の消防団ならびに地元の区では、財政的に助かるわけですが、私は、最も身近な地域の皆さんの命や財産を守る消防防災設備や施設は、例えば私たちの地域内の道路と同じように、高い公共性を持っていると思います。

地域内の道路はその地域の皆さんが最も利用しますが、地域以外の不特定多数の人も利用しています。

各部の消防団も、地域内での緊急事態にはもちろんいち早く出動することができますが、地域以外の町内で発生した火災等にも出動し、その機能を発揮しており、南部町全体の大きな消防防災力となっています。

団員の詰所も兼ねた各部の消防ポンプ室は、地域の消防防災の拠点施設であり、シンボルでもあります。これは地域内に設置されている防火水槽と同様に、なくてはならない重要な施設であります。

この極めて緊急的公共性の高い消防防災施設の建設について、施設の増築・補修を含め、地元負担の軽減はできないのでしょうか。

私は、この質問をするにあたり、峡南地域の各町の消防防災担当課を訪ね、本町のような補助制度はあるのか、直接、担当者から聞き取りをいたしました。

市川三郷町、富士川町、身延町、早川町のいずれの町にも、補助制度の規定はない様子でした。町は地元へ助成をしていないということでした。各町とも、町で補助するのではなく、町で建設してその管理を地元に残しているようです。もちろん地元の負担はなく、あるとすれば、竣工式のときの記念品代ぐらいだと聞きました。

また、ある町では、施設の電気料等光熱水費も、町で負担をしている様子でありました。

さて、南部町では、施設の建設に際して、これまで、地元で積み立てや各世帯に寄附を仰ぎ、その資金を捻出してまいりました。これは自分の地域の安全は自分たちで守るという、第一義的な建設的な気持ちの表れではないかと思えます。その尊い精神は、私たちが尊重しなければならない大切なことであります。

しかしながら、地域内の世帯数の多い少ないによる、負担額の格差に生じる不公平感や、何より施設の公共性と峡南各町の対応などを参考にいただき、町の財政事情もあると思えますが、地元負担の軽減についてのお考えをお伺いいたします。

○議長（望月将名君）

森田守議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、森田議員のご質問にお答えさせていただきます。

消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立したことを踏まえて、昨年12月本議会において議員の皆さま方の深いご理解をいただき、本年4月から、消防団員の定

員数、報酬年額および出動手当額の改正など、消防団員の処遇改善と消防団の抜本的な強化を図るための措置をさせていただいたところであります。

本町消防団は、南部・富沢の2分団と、その分団にそれぞれ属する各部が21部と本部を合わせ22部で構成され、ポンプ車、可搬積載車等35台を有し、その施設である詰所、ポンプ室等を拠点施設としております。

消防団員は、地域防災力の中核として欠くことのできない、代替性のない存在であることにかんがみ、火災はもとより、地震や風水害等の大規模災害や有事における応急対応など、地域住民の安心・安全の確保に努めなければならないとともに、地域コミュニティの維持・振興にも大きな役割を果たしております。

しかしながら、近年の社会環境の変化等に伴い、団員数の減少や高齢化、非雇用者比率が高い数値であることなど、さまざまな課題に直面していることも事実であります。

消防団員の充実強化対策を推進していくためには、その環境整備が非常に重要であり、地域を災害から守るために一層の充実を図らなければなりません。

大規模災害時において、的確な災害応急対応を行うためには、防災拠点となる公共施設等をはじめ、消防団各部の詰所・ポンプ室等の耐震性や、災害時における長期のライフライン停止に備えた対策等の重要性は大きな課題であります。

議員ご指摘のとおり、本町では、消防防災施設等整備費補助金交付要綱により、施設整備等に対する財政的支援をさせていただいております。

もちろん、国においても、東日本大震災以後、消防防災関係施設および設備の重要性が改めて認識されたところでもあります。

地域の消防防災対策の強化を図るためには、その整備は急務となりますが、消防団の詰所、ポンプ室等の建設費には、その規模・構造・内容等により異なりますが、おおむね1件当たり1千万円から2,500万円ほどの事業費となりますので、その整備には多額の経費を要することから、国庫補助制度の拡充や充実など、国の財政支援策が必要であると思っております。

現行では、国の財政支援策として、緊急防災減災事業債が該当いたしますが、財政負担も大きいことから、消防防災対策関係補助金の採択基準の見直しが必要ですので、国への要望事項として考えたいと思っております。

森田議員さんからご指摘をいただいた、地元負担の軽減についてですが、この場で明確な回答はできませんが、まず本町消防団各部の詰所、ポンプ室等、拠点施設の建物実態調査を実施するよう、主管課に指示いたします。

実態調査により内容を把握させていただき、各部の要望等を踏まえ、その実態を明確化するとともに、今後は部の再編にも目を向けた上で、現行の補助金交付要綱を見直すことも視野に入れ、検討させていただきたいと思っております。

以上です。

○議長（望月将名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

3番、森田守議員。

○3番議員（森田守君）

町長から、国への強い要望、また現在の施設の調査等をしていただき、そしてそれについて

検討を加えていただけるという、大変前向きなご答弁をいただきました。

再質問というわけでもございませんが、私は先ほどの質問の中で、消防防災施設は地域の道路と同様な公共性があるのではと申し上げましたが、端的に申し上げれば、町内各地域に建設される耐震性貯水槽や防火水槽、また消防ポンプ自動車や小型動力ポンプ、その積載車は特殊機装のうちの一部を地元が負担するケースがあると認識しておりますが、ほとんど地元負担はないのではないかと思います。

そう考えますと、同じ消防施設のポンプ室の建設に、決して軽くはない地元負担があるのはどうしてかという、単純で素朴な質問であります。

昨今、住民の皆さんへの避難勧告や命令の際、多くの部員がポンプ室に詰めることができるスペースや、トイレや簡単な台所も必要であり、現況の施設では恐らくそういうところが多いと思いますが、さらに建物本体の耐震構造など建設費用も多額となり、地元の負担は大変なことだと思います。

消防ポンプ室等施設の建設は、そう頻繁にあるとは思いませんが、また、現在計画中の地域もあるかどうか分かりませんが、次の建設に検討結果が反映されれば幸いに存じます。

住んでみたい町、負担の少ない町、住みよい町のためにも、いかがでしょうか。

それから、これは蛇足かもしれませんが、私が尋ねたときに、各町の防災担当者の中には、南部町の災害対策・防災対策は大変優れており、いつも注目し参考にしている旨の話もありましたことをご紹介させていただきまして、質問を終わります。

○議長（望月將名君）

森田議員にお聞きいたします。

ただいまの質問は要望ということでよろしいですか。

それとも答弁を求めますか。

○3番議員（森田守君）

答弁は結構です。

要望ということで。

○議長（望月將名君）

それでは、森田議員の質問が終わりました。

以上で森田守議員の一般質問を終了いたします。

次に、7番、木内利明議員の質問を許します。

7番、木内利明議員。

○7番議員（木内利明君）

私は、この定例会において、「木質バイオマス発電施設の誘致を」と題しまして、町長に質問をするものであります。

本題へいく前に、一言だけごあいさつを申し上げさせていただきたいと思っております。

このたび4月に行われた町長選挙は、佐野町政の4年間の施策と今後4年間の政策ビジョンが町民の方々に理解され、無投票当選が決まり、いよいよ6月から2期目の佐野町政の本格的始動となりました。

これからも南部町が飛躍的發展を遂げるために、ご尽力いただきたくお願い申し上げる次第であります。

さて、2期目の重点政策の中には、森林資源を活用した地域活性化施策として、木質バイオ

マスをはじめとして農林業への支援強化を目指すと、政策ビジョンが提起されておりますので、その点について町長に質問をするものであります。

特に、南部町は森林が豊富な町です。戦後の植林事業も盛んに行われ、民有林・県有林・国有林を合わせると2万ヘクタールを超えていて、今、伐期を迎えているものの、人工林・天然林を含めて国産材の需要は少なく、木材価格の低迷が要因で、民有林の中には、手入れもされず人工林放棄地が点在しております。保水力も弱く、山林崩落の災害発生も心配される場所でもあります。

また、町内の財産区も、将来展望がないまま現状維持の管理状況であります。森林の有効活用を考えないと、老木化して価値のない資産になりかねないので、今、我が町の素材を主役とし、森林のエネルギー資源として生かすときが到来していると思います。

このような状況の中で、先進的な自治体では、自分たちの使うエネルギーは自分たちで生産するというのが潮流となってきております。

国でも、再生可能なエネルギー発電事業を進めていまして、2千キロワット発電から補助事業として奨励しております。そのため県内では、大月市、甲斐市が1万5千キロワット発電に取り組み、ほかの市でもバイオマスエネルギー事業を計画中と聞きます。それに伴い、森林と関係業者の争奪戦が激化していて、座視している状況ではありません。

そこで1万キロワット以上の木質バイオマス発電を誘致すれば、雇用人口も50人以上で定住人口の増加につながり、利益配分により路網の整備を行えば、森林の管理と木材搬出が容易になります。発電の余熱はハウス栽培も可能です。また、地元の経済も潤い、町の税収にも寄与しますので、森林のマイナスイメージをピンチからチャンスとして捉えていただきたいと思っております。

なお、5千キロワット発電では採算面で利益が少ないので、峡南5町が連携して取り組めば、森林面積は10万7,525ヘクタールとなり、伐採は50年周期で行い、木材の40%を燃焼材として利用すれば、1万5千キロワット発電も試算で可能になりますので、誘致は無理、できないではなく、どうしたらできるかを考えていただきたく、木質バイオマス発電の誘致について、町長の考え方を聞くものであります。

○議長（望月将名君）

木内利明議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

それでは、木内議員のご質問にお答えいたします。

豊かな森林は、人々の安全な居住環境等を守り、生命の源となる清らかな水をたたえる役割を果たすものであります。

また、野生動物の生息・生育の場として大変重要でありますので、町としても豊かな森林維持のために、間伐等により、森林整備、保全を計画的に事業推進しているところでもあります。

一方、二酸化炭素の増加による地球温暖化、フロンガス等によるオゾン層の破壊、酸性雨による森林被害など、地球規模での環境悪化が進行しており、これらを踏まえ京都議定書が採択され、二酸化炭素をはじめとする6種類の温室効果ガスの削減目標が定められております。

さて、本題に入ります。

木内議員のご指摘のとおり、本町は人工林が大半を占め、高齢級化が進み伐採期に達している森林が多い現状です。その要因として、木材価格の低迷による木材の出荷量、事業量の減少、通年雇用や労働力の確保などが困難な状況が挙げられます。

このため、国・県の補助事業や、山梨県森林環境税事業を取り入れ、積極的に森林整備に努めているところでもあります。

さて、このような状況の中、私の重点政策にも掲げており、後藤新知事の政策にも掲げられています木質バイオ政策であります。実は昨年度より、担当課において協議検討をしているところであります。

ここで、現在判明している課題点をいくつか申し上げます。

木内議員ご指摘のとおり、現在南部町には、1万7千ヘクタールの森林が存在し、間伐整備が進んではいないものの、路網整備が行われていない奥地では、切り捨て間伐を行い未利用の林地残材となっております。

まず、この未利用材を利用し、木質バイオ発電等が行えるのではないかと考えてみました。

しかし、これを利用しようとするとう搬出費がかかるため、この搬出費を超える金額で燃料として買い取っていただかなければ採算が合いません。

また、路網が整備されている山林においては、国庫補助が関係しているため、搬出が義務付けられています。こちらは木材市場において、A材・B材・C材・チップ材と分けられ、すべて利用されています。

この中で注目すべきはこのチップ材の部分ですが、現在、製紙会社との間で、1トン当たり約1万6千円で取り引きされております。これに対し、木質バイオ発電の燃料としての買い取り価格の相場を調査したところ、1トン当たり、安いところで5千円から高くても1万円程度での取り引きとなっております。現在、搬出しているチップ材についての価格設定が、ここにおいて課題となります。

次に、現在、森林組合において国庫補助による年間約200ヘクタールほど間伐整備が行われていますが、国庫補助を利用した整備については10年間、それにプラス山梨県森林環境税を利用した整備については30年間、伐採が規制されております。

さらに、今後10年計画で町の森林整備計画が策定されており、これに基づき経営計画を立て、国庫補助を利用した間伐が計画されております。

これらの伐採の規制がかかった山林や、今後整備が計画されている山林については、国で規制緩和を考えていただけない限り手を付けられない、という問題があります。

また、峡南地区全体の森林で連携したらどうかという点ですが、以上の課題を解決していかなければ、この10万ヘクタールはフルに活用できないと思います。さらに2万キロワット発電には、1日に約千トンもの木材が必要となるそうです。発電所は稼働し始めたら止めることはできませんので、これらをどのようにして毎日搬出してくるのかということ、しっかりとした計画のもと行わなければならないと思います。

また先日、担当課において、長野県の「いづなお山の発電所」という小規模な木質バイオ発電所の視察を実施してまいりました。

この発電所は、平成17年から稼働して今年で10年目になりますが、1,300キロワットと1,500キロワットの2基の発電所を備えており、1日に200トンの木材を燃料とし

て燃やしています。

この発電所を経営している会社は、250ヘクタールの自社の山林を所有する林業会社とチップ会社と産業廃棄物処理会社の3つを経営していた会社で、そのノウハウを生かし発電所を設立したもので、燃料として使用する木材は、自社の山からの切り出しや、国有林・県有林の間伐の請負、建築廃材の引き取りにより賄い、チップ化も自社で行っています。

また売電も、電力会社へ売るより直接売電したほうが高く売れるため、自社が電力会社となって売電しています。

ここの社長いわく、「発電所は、一度稼動したら止めることができず、燃料となる木材を継続的に確保しなければならないので、このくらいの規模でやらなければ、この地域の山の木がすべてなくなってしまう。また、自社ですべての工程を行わなければ採算が合わない」とのことでした。

ほかにもいろいろなデータをいただいておりますので、今後、協議していく上での参考にしていきたいと思っております。

いずれにしても、木質バイオ発電は、上手に行えば森林整備につながり、二酸化炭素排出実質ゼロという非常にエコで画期的な施設だと思います。しっかり採算シミュレーションを行い、この地域に合った規模のものを慎重に検討し、発電所誘致に関しても、慎重に協議していきたいと思っております。

以上です。

○議長（望月將名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

7番、木内利明議員。

○7番議員（木内利明君）

町長から今、答弁をいただきました。

慎重に考えていただいているなという感じがしたわけでありまして、またもう1つは8,500人の町としては、大きな提案をしたかなと私は思いますが、ただ1町でもできることはできるけれども、質問の中で申し上げたように、5千キロワットではどうしてもペイがいただいということがいわれておりますから、1万キロになってくるとそれなりの利益が上がってきて、あらゆるところへ利益の配分がいきますから、どうしても大きい提案も5町でしていただければということで、これは夢の夢かもしれませんが、少しでもこの富士川べりが共に潤っていくための1つの提案かなと思ってさせていただきましたが、一番重要なことは、これまで業者と町がいろいろ話をしてきたと思いますが、さらに町長の今の答弁を聞いてみて、当局と議会、また森林の業者さんたちと組織化をして、このことについて掘り下げて可能性を追求するという事も考えられると思いますが、そういうための協議会とかを立ち上げてやればいいのかと思っておりますが、そのことについて、町長の考え方を示していただきたいと思っております。

○議長（望月將名君）

木内利明議員の質問が終わりました。

町長の答弁を求めます。

佐野和広町長。

○町長（佐野和広君）

ご質問にありました件ですが、私のリーフレットの中に、南部町の宝である森林をどうにかしたいという、これは前々から話しておりました。

まず手始めに、今回、森林といいますか竹林でその行動を起こしました。これは私もいろいろな形を検討しながら、何とかこれを成功に結び付けたいと。もうすでにそれは始まっていますから、とりあえずは様子を見るということです。

それから次の段階として、今度は山。これはやはり今おっしゃったように、何とかできるものであるならば、これは本当に素晴らしいことだと思っています。

今、私の手元にたくさんの資料を携えておりますから、これをいろいろ検討しながら、先ほど言った、そういう委員会なり何なりを設けたいというお話でありますから、またその点も前向きに考えておりますから、本当にできるものであるならばこれは町にとっていいわけですから、もうしばらく検討させてください。

以上です。

○議長（望月将名君）

町長の答弁が終わりました。

再質問はありませんか。

7番、木内利明議員。

○7番議員（木内利明君）

町長から再答弁をしていただきました。

私もそういう方向で良かろうと思いましたが、ただ、町長の言う方向の中で長野県の話がされましたが、あの規模だったら、そのまま山が坊主になってしまうよということは、小規模だとどうしても手入れが回らないです。ですから大きくするしかない。大きくするにはそれだけ仲間を増やす、木を増やすということは、それなりの苦労もあるけれども、森林でよみがえらせていく南部町を考えたとしたらやりがいのあることで、ぜひ思い切って決断をすることも1つの方法だと思いますが、町長のこれからの判断に期待したいと思います。

以上をもちまして、質問を終わります。

○議長（望月将名君）

木内利明議員の質問が終わりました。

以上で木内利明議員の一般質問を終了いたします。

これで一般質問を終結いたします。

以上で本日の日程はすべて終了いたしました。

なお、3日水曜日には、2日目の本会議を開きます。

内容は現地視察です。

午前9時開議となっておりますので、午前8時45分までに議員控え室にご参集ください。

本日はこれにて散会いたします。大変ご苦労さまでございました。

議員の皆さまは控え室にお集まりください。

散会 午後12時15分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成27年6月1日

南部町議会議長

望 月 將 名

会議録署名議員

望 月 藤 一

会議録署名議員

内 田 大 明

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長

小 倉 弘 規

平成 2 7 年

南部町議会第 2 回定例会会議録

6 月 3 日

平成27年南部町議会第2回定例会（第2日目）

議事日程（第2号）

平成27年6月3日
午前9時00分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 現地視察

4. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1番 遠藤光宣	2番 仲亀佳定
3番 森田守	4番 望月藤一
5番 内田大明	6番 鍋田幹雄
7番 木内利明	8番 萩原敬
9番 堀之内可和	10番 佐野哲也
11番 簀持雅	12番 望月將名

5. 欠席議員（なし）

6. 会議録署名議員

6番 鍋田幹雄	7番 木内利明
---------	---------

7. 地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者 (な し)

8. 職務のために議場に出席した者の職氏名 (1名)

議 会 事 務 局 長 小 倉 弘 規

開議 午前 9時00分

○議長（望月將名君）

おはようございます。

ただいまから平成27年南部町議会第2回定例会、2日目の会議を開きます。

ただいまの出席議員は、12名で定足数に達しておりますので、平成27年南部町議会第2回定例会、2日目の会議は成立いたしました。

それではただちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

○議長（望月將名君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により議長において、6番 鍋田幹雄議員および7番 木内利明議員の両名を指名いたします。

○議長（望月將名君）

日程第2 ただいまから、現地視察を実施いたします。

順路は、お手元にお配りいたしました行程表のとおりであります。

ただちに現地に向かいますので、準備をお願いいたします。

《現地視察》

○議長（望月將名君）

現地視察が終了いたしました。

以上で、本日の日程はすべて終了いたしました。

なお、次の本会議は、6月12日金曜日、午前9時30分より3日目を開きます。

議員の皆さまは、午前9時までに控室へご参集ください。

また、5日には、文教厚生常任委員会および総務建設常任委員会の審査が行われます。

会場は2階大会議室、開会は午前9時であります。

時間までに2階大会議室にご参集くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

本日はこれにて散会いたします。

たいへん、ご苦労さまでした。

散会 午後 4時20分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成27年6月3日

南部町議会議長

望 月 將 名

会議録署名議員

鍋 田 幹 雄

会議録署名議員

木 内 利 明

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長

小 倉 弘 規

平成 2 7 年

南部町議会第 2 回定例会会議録

6 月 1 2 日

平成27年南部町議会第2回定例会（第3日目）

議事日程（第3号）

平成27年6月12日
午前9時30分開議
於 議 場

1. 議長あいさつ
2. 開議
3. 日程報告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 町長提出議案審査の委員長報告・質疑

日程第3 町長提出議案の討論・採決

報告第5号 専決処分した事件の承認について（一般会計補正予算（第1号））

議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第50号 南部町指定密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）

議案第53号 平成27年度南部町介護保険会計補正予算（第1号）

日程第4 議員派遣について

日程第5 閉会中の継続調査について

4. 出席議員は次のとおりである。(12名)

1番	遠藤光宣	2番	仲亀佳定
3番	森田守	4番	望月藤一
5番	内田大明	6番	鍋田幹雄
7番	木内利明	8番	萩原敬
9番	堀之内可和	10番	佐野哲也
11番	簀持雅	12番	望月將名

5. 欠席議員(なし)

6. 会議録署名議員

8番	萩原敬	9番	堀之内可和
----	-----	----	-------

7. 地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名(22名)

町長	佐野和広	教育長	渡辺拓雄
代表監査委員	若林泰文	会計管理者 (兼)出納室所長	鈴木正規
総務課長	四條和彦	財政課長	望月政文
企画課長	佐野隆行	税務課長	望月哲也
交通防災課長	望月一弥	子育て支援課長	田村秋人
福祉保健課長 (兼)地域包括支援センター所長	遠藤良彦	住民課長	古屋秀樹
産業振興課長(併) 農業委員会事務局長	木内一哉	建設課長	若林邦治
水道環境課長	小池治男	環境センター所長	稲葉芳幸
アルファセンター所長	新井稔	健康管理センター所長	近藤勝
学校教育故課長 (兼)学校給食共同調理場所長	青木司	生涯学習課長(兼)公民館長(兼) アルカディアスポーツセンター所長	梶原猛
出納室室長補佐	望月浩	税務課課長補佐	望月一希

8. 職務のために議場に出席した者の職氏名(1名)

議会事務局長 小倉弘規

○議長（望月將名君）

皆さん、おはようございます。

6月定例会、3日目の開議にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

議員各位には、去る3日の現地調査、大変ご苦労さまでございました。

年度が始まって間もないということで、今期定例会は、ネクスコ中日本清水工事事務所、南アルプス工事事務所のご協力により、中部横断自動車道の樽峠トンネル南工事と興津川橋工事の進捗状況を視察してまいりました。間近で見ますと、まさに壮大なスケールで工事が進められていることが再確認できました。平成29年度には全線開通の予定で着々と進められていますが、順調に進捗することを強く願うところであります。

この高速道路の開通により、雨量規制による移動制限の緩和や地域間移動時間の短縮が図られ、より早く、より遠くまで行くことができます。

現在、策定が進められている地方版総合戦略においても、今後、高速道路網を活用した前向きなまちづくりの推進が望まれるところであります。

また、地震防災の先進地である静岡県が設置する地震防災センターでは、東海地震や浜岡原発事故に立ち向かうための静岡県民の知識と対策や、防災意識の高揚を図るための取り組みについて研修させていただき、隣接する本町の今後の防災対策に、大変参考になりました。

それでは、本日が最終日になると思いますが、慎重な審議をお願い申し上げるとともに、円滑なる議事進行に格段のご協力をお願い申し上げまして、3日目のあいさつといたします。

ただいまから、平成27年南部町議会第2回定例会3日目の会議を開きます。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、平成27年南部町議会第2回定例会3日目の会議は成立いたしました。

それでは、ただちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりであります。

○議長（望月將名君）

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により議長において、8番 萩原敬議員および9番 堀之内可和議員の両名を指名いたします。

○議長（望月將名君）

日程第2 各常任委員会に付託いたしました案件の審査報告および、審査報告に対する質疑を行います。

最初に、総務建設常任委員会の審査報告および審査報告に対する質疑を行います。

総務建設常任委員会の委員長報告を求めます。

総務建設常任委員会、佐野哲也委員長。

○総務建設常任委員長（佐野哲也君）

それでは、総務建設常任委員会委員会審査報告をいたします。

本委員会は、平成27年6月5日金曜日に開会し、午前10時30分から午前11時55分

まで、南部町役場本庁舎 2 階大会議室で審査いたしました。

出席者は、委員長、私、佐野哲也、遠藤光宣副委員長、箕持雅委員、萩原敬委員、木内利明委員、森田守委員、望月將名議長であります。

執行部からは、交通防災課、財政課、産業振興課、農業委員会、建設課、総務課の、各課長および担当職員が出席しました。

お手元に配布のとおり、総務建設常任委員会に付託された 2 件の議案について、所管課より説明を受け、慎重な審査の結果、いずれも原案どおり承認および可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において次の質疑があり、所管課からそれぞれ答弁がありました。

質疑の内容について、別冊の総務建設常任委員会審査報告書より、抜粋して報告いたします。

報告書をご用意ください。

はじめに交通防災課関係であります。

2 ページ。

議案第 5 2 号 平成 2 7 年度南部町一般会計補正予算（第 2 号）。

歳入

問 消防防災指定寄附金 3 0 0 万円の寄附者と寄附内容、また歳出の充当科目は。

答 南部町楮根区出身で長野県諏訪市在住の方であり、防災活動に役立てるよう、防災対策の充実を図ってほしい旨の申し出があった。充当は災害対策費全般に使われるという回答であります。

次に 3 ページ上段。

問 防災対策費中、防災用備品購入費の内容について説明を。

答 避難所施設用ふとんマット 2 0 0 枚、携帯式災害時用照明器具セット 5 組、衛星系防災無線 F A X 機 1 台、防災無線機 5 ワット・移動局「ぼうさいなんぶ」7 台、衛星携帯電話 7 台、衛星携帯電話充電用発電機 7 台、衛星携帯電話充電用発電機ガソリン携行缶 7 台、以上を予定しており、主な財源として災害対策債を充てる。

財政課関係につきましては、特に質問はございませんでした。

次に、産業振興課・農業委員会関係であります。

5 ページ、議案第 5 2 号 平成 2 7 年度南部町一般会計補正予算（第 2 号）。

歳出

問 農業基盤整備促進事業工事の内容説明を。

答 団体営土地改良事業で、当初 2 6 年度の予定が、県の予算が付かず今年度となったが、万沢陵草区屋敷平地内の農道整備工事で、延長 1 5 0 メートル、幅員 3 メートルの計画である。

次に、一番下の問であります。

問 奥山温泉管理費の備品購入費の説明を。

答 経年劣化が著しく、修理もできなくなった予備ポンプと配線の購入である。

次に建設課関係であります。

6 ページ、議案第 5 2 号 平成 2 7 年度南部町一般会計補正予算（第 2 号）。

歳出

問 橋りょう維持費について、長寿命化を図らなければならない橋がどれだけあるのか。また、推進状況は。

答 町道として184橋を管理しており、そのうち15メートル以上のものは31橋である。
昨年度、福土川橋の耐震補強を行ったが、今年度は4橋の詳細設計と2橋の補強工事を実施する。

次に、一番下。

問 町道越渡御屋敷線の測量設計委託料は、延長700メートルとしては高額ではないか。

将来、国道の右折レーン設置により、一方通行を解除するための費用が含まれているのか。

答 過去に山側法面で崩落や倒木が起きているので、法面調査も実施するため、割高である。

国道からの右折については、今後検討していきたい。

次に、総務課・分庁舎関係であります。

8ページ中段、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）。

問 番号制度の構築補助金に関し、セキュリティー機能はどうか。また対象者は。

答 マイナンバーは住民票を有するすべての方に1人1つの番号を付して、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数機関に存在する個人情報が同一人のものであることを確認するため活用すること。

マイナンバーを安心・安全に利用するため、制度面とシステム面の両方で個人情報を保護するための措置を講じていく。制度面では、法律に規定するものを除き、マイナンバーを含む個人情報の収集や保管を禁止していること。また、国は、第三者機関の特定個人情報保護委員会がマイナンバーを管理する地方公共団体システム機構を監視・監督すること。システム面では個人情報を一元化することなく、従来どおり、年金の情報は年金事務所、税の情報は税務署というように分散して管理すること。また、行政機関の間で情報のやり取りをする場合も、マイナンバーは直接使わず、システムにアクセスできる人を制限し、通信する場合は暗号化すること。情報提供ネットワークシステムを使い、自分の個人情報を、いつ、誰が、なぜやり取りしたのかを自分自身で確認できる手段として、29年度からマイ・ポータルというシステムが稼働予定である。

なお、そこにはありませんが、そのあと委員の中で、決定的なものではありませんが、今後、検討する中で年金機構のようなことのないように、特に留意してもらいたい旨の意見が多く出ておりますことを報告いたします。

次に9ページ。

問 マイナンバー制度により、住基カードの扱いはどうなるのか。

答 27年12月までに発行された住基カードは、引き続き有効期限まで利用できる。ただし、個人番号カードの交付を受ける際には、返還する。

以上、審査報告書より抜粋して報告いたしました。

これで総務建設常任委員会委員会審査報告を終わります。

○議長（望月将名君）

委員長報告が終わりました。

佐野委員長は、その場でお待ち願います。

一括して質疑を行います。

委員長報告に対する質疑はありませんか。

（なし）

質疑なしと認めます。

以上で、総務建設常任委員会の委員長報告に対する質疑を終結いたします。

佐野哲也委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

次に、文教厚生常任委員会の審査報告および審査報告に対する質疑を行います。

文教厚生常任委員会の委員長報告を求めます。

文教厚生常任委員会、内田大明委員長。

○文教厚生常任委員長（内田大明君）

文教厚生常任委員会、委員会審査報告をいたします。

本委員会は、平成27年6月5日金曜日に開会し、午前9時から午前10時17分まで、南部町役場本庁舎2階の大会議室で審査を行いました。

出席者は委員長、私、内田大明、仲亀佳定副委員長、堀之内可和委員、鍋田幹雄委員、望月藤一委員、望月將名議長。

執行部からは、教育長、総務課長、福祉保健課、子育て支援課、環境センター、教育委員会の、各課長および担当職員が出席しました。

お手元に配布のとおり、文教厚生常任委員会に付託された5件の議案について、所管課より説明を受け慎重審査の結果、いずれも原案どおり可決すべきものと決定いたしました。

なお、審査の過程において次の質疑があり、所轄課からそれぞれ答弁がありました。

質疑の内容について、別冊の文教厚生常任委員会審査報告書より抜粋して報告いたします。

報告書をご用意ください。

はじめに、福祉保健課関係です。

2ページ最初の、議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について。

問 31条に加える28号についての説明を。

答 文中「同条第1項に規定する会議から」とは、地域ケア会議等を示しており、事業者と関係者が情報を共有し、連携に努めていくことが追加されたもの。

続いて、議案第50号 南部町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について。

問 名称が変わっているが、内容としては何か変わっているのか。

答 要介護1から5の方が対象となる条例で、名称の「複合型サービス」が「看護 小規模多機能型 居宅介護」に変更されたが、内容に変わりはなく、地域密着型サービスの1つであり、通所介護を中心にしながら、必要に応じ、ショートステイや訪問介護・訪問看護を一体的に受けることができる、セットメニュー的なサービスである。

次に3ページ、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）。

歳入

問 臨時福祉給付金支給事業費等補助金のうち、事務費補助金の内容説明を。

答 予算書歳出、臨時福祉給付金支給事業費の、職員手当等から役務費が該当し、パート人件費や郵便料などの経費で、補助率10分の10であり、対象者として1,800人を見込んでいる。

次に、同じページ下段、議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算（第

1号)。

問 介護報酬等の改定について説明を。

答 主なものとして、介護保険サービスを利用した際に発生する介護報酬が、全体的に2.27%引き下げられたこと。27年度から29年度の第1号被保険者の保険料が、基本額5,800円となったこと。介護老人福祉施設の新規の入所基準が、原則として介護度3以上となったこと。介護保険制度の大原則であった利用者負担1割が、一定以上の所得者について2割となったこと。

次に、子育て支援課関係です。

5ページ、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）。

歳出

問 子育て世帯臨時給付金の内容について説明を。

答 消費税引き上げなどの影響を踏まえ、子育て世帯に対し、臨時特例的な給付を行うもので、平成27年5月31日における、6月分の児童手当受給者が対象であり、対象児童数900人で510世帯、対象児童1人につき3千円を支給すること。

予算可決後、申請書式を送付、9月上旬までを受付期間とし、随時審査を行い、10月以降に給付決定、支払い開始の予定である。

次に、環境センター関係です。

6ページ、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）。

歳出

問 し尿処理費の修繕料と脱窒素槽等清掃委託料の説明を。

答 修繕料については、予備貯留槽の内部を塗り替えて防食修繕を行うこと。

脱窒素槽等清掃業務は、沈殿物がポンプに詰まるため、4年から5年に一度除去する必要がある、今年度は6つすべてを清掃する。

次に一番下の問。

問 塵芥処理費の、各種申請・調査委託料の内容について説明を。

答 RDF施設を解体して倉庫として活用するため、危険物の届出の廃止、倉庫としての防火設備など、消防法に基づく届出業務である。

最後に、教育委員会関係です。

7ページ、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算（第2号）。

歳入

問 雑入、一般コミュニティー助成事業交付金の説明を。

答 財団法人自治総合センターが行う、宝くじの社会貢献広報事業によるもので、昨年10月の申請に対し、交付決定がされた。

歳出

問 多様な教育機会確保法案の成立が図られる中、本町では校長退職後の方々の自主的活動がされていることについて、将来的な実施・運営に対する考えを求める。

答 教育支援センターは昨年4月に開所し、指導主事による不登校対策・教育相談や、退職教員が講師を努める小中学生の学習支援が実施されていること。

今年度は、小学校の合同授業と若手教員の支援・育成を図るため、指導員の賃金を予算計上したこと。また、当面は現体制での運営を図る考えである。

次に8ページ。

問 アルカディア文化館費の美術館案内板設置工事費は、どこに、どのようなものを予定しているのか。

答 来館者が、近くまで来ていながら分からずに通り過ぎてしまうため、文化館前の道路沿いに、高さ3.3メートル、幅2.2メートル、ステンレス製の案内板を、両方向から見えるよう設置したい。

以上、審査報告書より抜粋して報告いたしました。

これで、文教厚生常任委員会の委員会審査報告を終わります。

○議長（望月将名君）

委員長報告が終わりました。

内田委員長は、その場でお待ち願います。

それでは一括して質疑を行います。

委員長報告に対する質疑はありませんか。

（ な し ）

質疑なしと認めます。

以上で、文教厚生常任委員会の委員長報告に対する質疑を終結いたします。

内田大明委員長、ご苦労さまでした。

席にお戻りください。

以上で、各常任委員長の審査報告および審査報告に対する質疑を終結いたします。

○議長（望月将名君）

日程第3 委員会付託議案に対する討論・採決を行います。

まず、文教厚生常任委員会付託案件、総務建設常任委員会付託案件の討論を一括で行います。

討論の通告はありませんので、討論なしと認めます。

以上で討論を終結いたします。

次に、採決を行います。

採決は、1議案ごとに順次行います。

まず、報告第5号 専決処分した事件の承認について（平成27年度南部町一般会計補正予算（第1号））についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案承認であります。

本案は委員長報告のとおり承認することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、報告第5号については、報告のとおり承認することに決定いたしました。

次に、議案第49号 南部町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

（ 起 立 全 員 ）

起立全員であります。

よって、議案第49号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第50号 南部町指定密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第50号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第51号 南部町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第51号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第52号 平成27年度南部町一般会計補正予算(第2号)についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第52号については、原案のとおり決定いたしました。

次に、議案第53号 平成27年度南部町介護保険特別会計補正予算(第1号)についてを採決いたします。

本案に対する委員長の報告は、原案可決であります。

本案は委員長報告のとおり決定することに、賛成の諸君の起立を求めます。

(起 立 全 員)

起立全員であります。

よって、議案第53号については、原案のとおり決定いたしました。

○議長(望月将名君)

日程第4 議員派遣の件についてを議題といたします。

お諮りいたします。

お手元に配布してあります議員派遣の件のとおり、議員を派遣することにご異議ありませんか。

(異議なし。の声)

ご異議なしと認めます。

よって、お手元に配布してあります資料のとおり、議員派遣をすることに決定しました。

○議長（望月將名君）

日程第5 閉会中の継続調査についてであります。議会運営委員会委員長、総務建設常任委員会委員長、文教厚生常任委員会委員長から、閉会中の各委員会の開催について申し出がありました。

会議規則第75条の規定に基づき、平成27年第3回定例会の会期の決定、所管事務研究および調査について、お手元にその届け書の写しが配布されております。

お諮りいたします。

各委員長からの申出書のとおり、各委員会の所管事務等について、議会閉会中に委員会を開催することにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、各委員長からの申出書のとおり、委員会の所管事務等について、議会閉会中の委員会開催については、決定されました。

お諮りいたします。

以上で、本定例会に付議されました案件はすべて議了いたしました。

よって、会議規則第7条の規定により、本日をもって今期定例会を閉会といたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

（異議なし。の声）

ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会は、本日で閉会とすることに決定いたしました。

平成27年南部町議会第2回定例会を閉会いたします。

大変ご苦労さまでした。

閉会 午前10時10分

会議の経過を記載して、その内容が相違ないことを証するためにここに署名する。

平成27年6月12日

南部町議会議長

望 月 將 名

会議録署名議員

萩 原 敬

会議録署名議員

堀之内 可 和

本会議録の作成にあたった者の氏名は次のとおりである。

議 会 事 務 局 長

小 倉 弘 規